

# ブリッツェン 隙なし



阿部(右)を先頭にタイムを上げ、レースを制した宇都宮ブリッツェン。栃木市の渡良瀬遊水地、三谷千春撮影

## 2日目、一気にペースアップ

**自転車**  
JPT第16戦

自転車ロードレースのJプロツアー(JPT)第16戦、第1回チームタイムトライアル(TT)チャレオンシリアルは1日、栃木市の渡良瀬遊水地内谷中湖北ブロック周回コース(全長16.0キロ、15.3キロ×3周)で初開催され、宇都宮ブリッツェンが18分41秒31で初代王者に輝いた。

JPT第17戦は2日午後1時から、同所で個人TTを行う。

JPT第16戦は2日午後に約12秒差をつけた。谷中湖北ブロック周回コース(全長16.0キロ、15.3キロ×3周)で初開催され、宇都宮ブリッツェンが18分41秒31で初代王者に輝いた。



5位に入った那須ブラーゼン

となったブリッツェンは阿部(右)を先頭に1周目を6分22秒で走ると、2周目は6分7秒と一気にペースアップ。最終周も6分11秒と安定したラップタイムをマーク。2位のマトリックスパワータグに約12秒差をつけた。那須ブラーゼンは19分42秒52で5位に終わった。

岩井航大セネラルマネジャー(GM)は「2周目のペースを維持したかったと声を落とした。樋口(選手)が最終周目で積極的にけん引し、最後の失速が響き5位。〇:那須ブラーゼンは後半の失速が響き5位。」

JPTで2年ぶりに開催されたチームTTで、宇都宮ブリッツェンが圧倒的な強さで頂点を立った。2位に約1秒の大差をつけ、きつちりと総合順位もキープ。最後の1周はやや失速したものの、清水裕輔監督も「予想以上にタイムが速かった。よくやった」と賞辞を惜しまなかった。

事前エントリーしていた鈴木龍が大会直前の落車負傷で欠場。急きょ雨天練習を加えた6人を出走したが、アクシデントをものともしない走りを見せた。勝ててホッとしている」と。

タイムを縮めるハイスピードなレース運びに貢献した。鈴木龍が「発射台」となり、残り1周から増田成幸(主将)と野寺玲(副主将)が連携して加速。増田主将は「TTに強いこのメンバーで勝てなくて恥ずかしい。勝ててホッとしている」と。

リダーチームのプレッシャーを力に変え、最後に笑顔を見せた。地元初開催のチームTTでポイントを重ね、今季目標の「年間総合優勝」もはつきりと射程に捉えた。「多少コンディションは崩れてきているが、全体的にはモチベーションも高く維持できている。(JPT)総合優勝も残りの国際レースでも何かしらの結果が残せると思う」と指揮官、チーム創設10年の節目を飾る悲願の時が待ち遠しい。(三谷千春)

### ハイライト 年間総合Vも射程に

最後周回まで体力を残した選手をつくれず、失速につながった。樋口は「二人一人の前に出る時間が長かったと、先頭交代のローテーションも課題に挙げた。ホンダ栃木・平塚佐亮(5人)で出場して11位」「巡航の速度を保って人数がばらけないよう意識した。最後のコーナーまで4人残せた。もう少し上位を狙いたかったが、直前に1人欠けた状況では最低限の走りが必要だった。」

剣道女子個人 高木が頂点に 全国高専体育大会 第53回全国高専体育大会は1日までに福岡県久留米アリーナほかで剣道、水泳などを行い、剣道女子個人で高木白音(小山高専)、水泳男子400メートル自由形で四家豊